

産 業 振 興 分 科 会

2006年11月18日
午後2時～5時
市役所 14階 大会議室

金 枝 右 子	佐 藤 弓 子	花 田 静 子
金 谷 貞 夫	佐 藤 竜一郎	三尾谷 文 子
佐 藤 要	津 谷 好 人	

目次

1. 本市の重点課題に関する認識

2. 重点課題解決に向けた目標（重点目標）

3. 施策・事業の柱

4. 事業内容

参考資料：産業振興分科会 検討内容

宇都宮市の産業振興分野における重点課題

宇都宮市の 産業振興分野 における 重点課題

①安全・安心な食品供給基地の整備

- ・健康食品ニーズの高まり、食の安全ニーズの高まり、外国産食品との競争の激化への対応(差別化)が必要になっている
- ・宇都宮市には一次産業基盤がフルラインで整っているため強みを生かせる

②新しい観光業の創出

- ・優良な観光資源を持っている(おいしい水、豊かな緑・自然、大谷石等)が活用されていない
- ・癒しが求められる社会においてそれらの資源を活用できる

③起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

- ・既存産業が成熟化する中で、新しい宇都宮市を牽引するニュービジネスが期待されている
- ・現状では、産業教育が十分でないため企業家精神が市の若者に育っていない

④若年労働力不足時代への対応

- ・少子高齢化、ニートの増加等により若年労働力が不足すると考えられるため、若年労働力を確保育成する必要がある

⑤中心市街地空洞化への対応

- ・若者のスポット喪失や高い地価、駐車場不足や郊外への大規模商業施設の立地等により中心市街地が空洞化しているが、市民からの中心市街地活性化ニーズは強く、取り組むべき

2. 重点課題解決に向けた目標(重点目標)

重点課題に対応した5つの重点目標

5つの重点目標

【重点課題①】

安全・安心な食品供給基地の整備

①食品・産品の高付加価値化とバリューチェーンの地域統合

・現在、食産業のビジネスプロセスが分断され、個別業者レベルで主に市外に対してビジネス展開している。これに対して、対外的には付加価値の高い差別化された商品の開発を推進し、地域における生産・流通・販売の一連のビジネスプロセスを最適化・効率化する。

【重点課題②】

新しい観光業の創出

②地域の魅力再発見と強みと結びついたテーマ性を重視した観光コンテンツの発進

・宇都宮市における地域観光資源は、市民ですら十分に把握していない現状である。市民の手で観光資源の魅力を再発見・再発掘し、それらの中の強みの部分を生かしたテーマ性を重視した観光コンテンツを作成し、外部発進する。

【重点課題③】

起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

③内発型の新産業創出を目指して市民に対して意識面の啓発、環境整備、実業化支援といった入り口から出口までのフルパッケージによる起業支援を行う

・宇都宮市では、従来から起業支援は行われてきたが、ターゲットや支援内容が限定的であるという問題点がみられた。このため、今後は意識啓発から実業化支援までのそれぞれの起業家の進展段階に応じた支援が求められ、フルパッケージによる起業支援が求められる。

【重点課題④】

若年労働力不足時代への対応

④若年者の意識啓発・職業能力向上と女性の労働市場進出の促進により労働力の維持確保を図る

・若年労働力が総量として減少していく中で、若年者のフリーター・ニート化が進み、益々生産性の高い労働力が不足すると考えられる。このため、若年者の意識向上・能力向上が求められる。また、若年者だけでなく、女性の労働市場への進出も求められる。

【重点課題⑤】

中心市街地空洞化への対応

⑤魅力ある拠点づくりとアクセス改善

・中心市街地への人の流れが無くなって久しいが、郊外へ流出した人・消費の流れを再度中心市街地に取り戻し、まちの活性化につなげるために、魅力ある拠点づくりと、拠点へのアクセス改善に取り組む

3. 5つの事業の柱

**5つの
事業の柱**

①安全・安心な地元食材を使った商品開発とその販売ルート開拓

②食・ツーリズム事業(観光と食との合体)

③起業のための環境整備

④宇都宮版ワークシェアリングの推進

⑤五感に訴えかける仕掛けづくり

4. 事業内容

①安全・安心な地元食材を使った商品開発とその販売ルート開拓

①対象

- 消費者グループ、匠（地域の匠）
- 農業者、消費者

②目的

- 安全・安心な産品開発を行う、産品開発において地域内外の市民、消費者のアイデア・創意工夫を活用する
- 消費者の安全・安心ニーズの高まりに対応して、生産者の顔の見える販売方法を構築する

③事業概要

- 市内外から安全・安心な地元食材を利用した産品アイデアを募集し、コンクールを実施する。優秀作品は実際に作成、販売することとする。
- 生産者の顔が見える販売方法
（生産物トレーサビリティシステムの構築）

④事業主体

- 市
- 農業団体

4. 事業内容

②食・ツーリズム事業(観光と食との合体)

①対象

- 商工団体
- 観光協会
- 地元商店街

②目的

- 餃子等の食に関する観光資源を活用した観光事業を推進する

③事業概要

- 食を中核的資源とした観光を推進する

④事業主体

- 市
- 商工関係団体

4. 事業内容

③起業のための環境整備

①対象

- 起業意欲のある人、起業をサポートする人
- 金融機関、エンジェル、ベンチャーキャピタル、大学・商工会

②目的

- 経済成長の維持のために、ベンチャースピリットをもった起業家の創出／個人の自己実現、喜びの醸成
- 起業希望者の経済支援／出資者の啓蒙、意識付け

③事業概要

- 起業コンテスト(エンジェルによるその場での支援決定)／気軽に相談できる相談窓口の設置
- インキュベータの仕組み構築／起業に詳しい人を雇用し、行政が出資し、専門家が投資の可否を判断／起業のアーリーステージにある起業家に対するコンサルの充実(技術、経理などのチェック)／起業家コンサルの設置(技術指導、管理指導、経理指導等)

④事業主体

- 市
- 商工会議所

4. 事業内容

④宇都宮版ワークシェアリングの推進

①対象

- 市内就労者

②目的

- 雇用機会の拡大
- 親が安心して働ける就業体制構築
- ワークライフバランスの確保

③事業概要

- 短時間正社員制度の認定と導入検討企業に対するノウハウ支援
- 割増賃金の引上げ(市内政労使合意)とノー残業企業表彰制度

④事業主体

- 事業主
- 市

4. 事業内容

⑤五感に訴えかける仕掛けづくり

①対象

- 市民
- 観光客

②目的

- 文化とゆとりをキーコンセプトとした五感に訴えかけるまちづくり
- 五感に訴えかけることにより、トータルの満足度を提供する

③事業概要

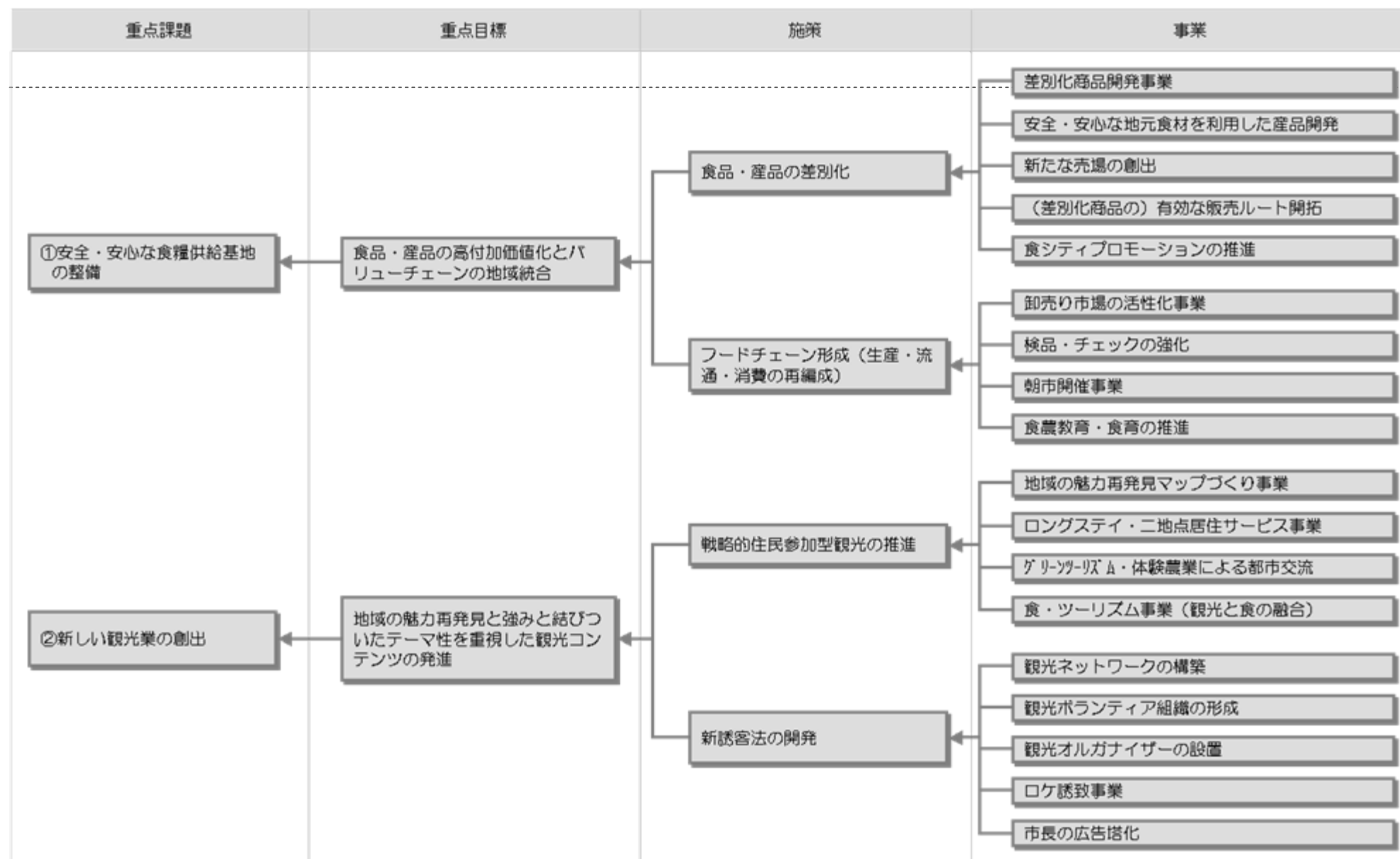
- 商店等のみではなく五感を満たす拠点の集中化（文化とゆとりに感じられる空間整備、歴史・芸術を感じられる拠点、食通をうならせる拠点の一極集中化。歩きながら五感を満たせるコンパクトな中心市街地形成）
- 中心市街地で販売する食品のトレーサビリティの推進
- 餃子に匹敵する食の主力商品の開発
- 子供も大人も「体験できる」仕掛けを作る
- 魅力あるまちづくりを考えるワーキングの設置（五感それぞれにワーキングを設置し、統合ワーキングも設置）

④事業主体

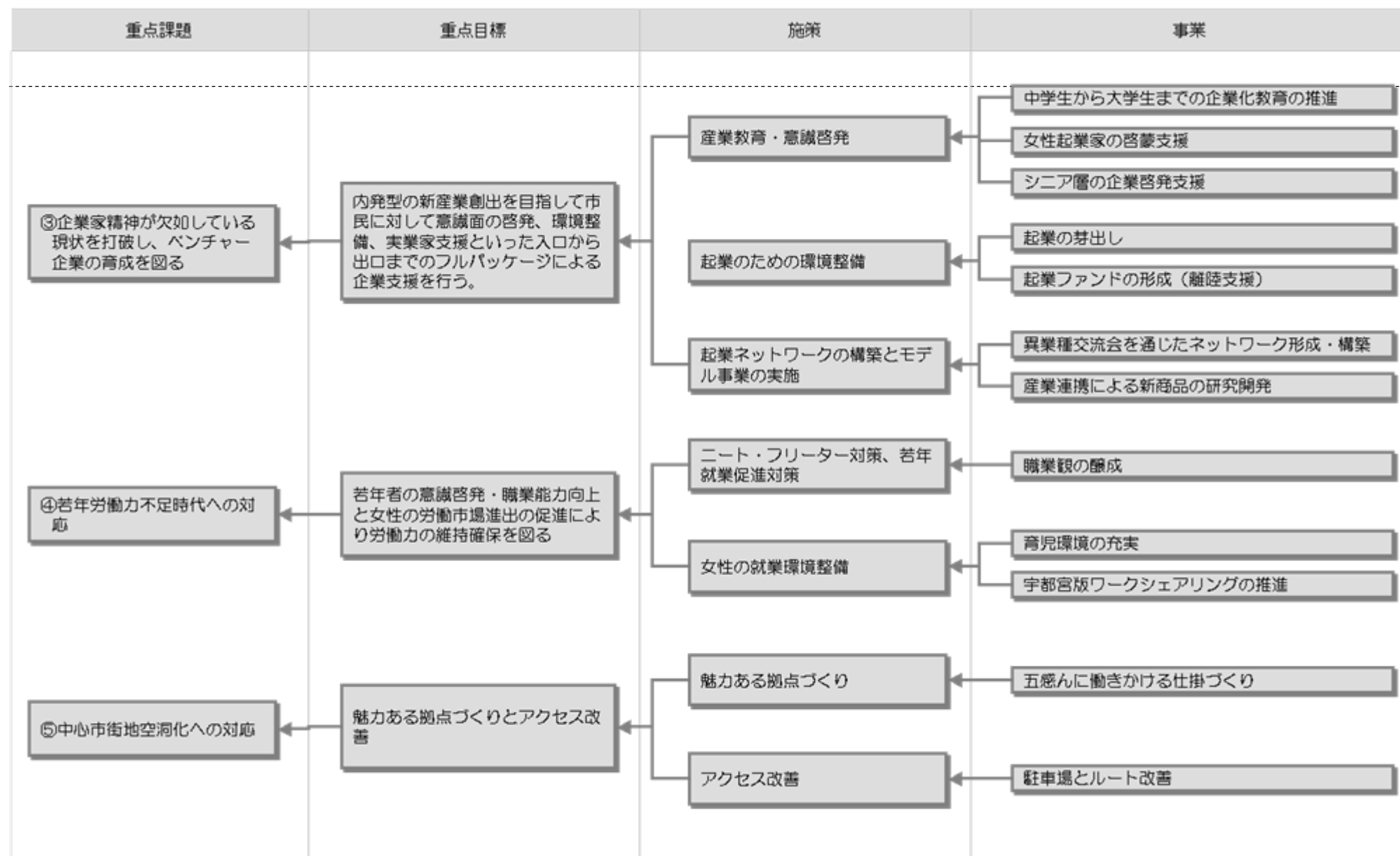
- 市
- 商店街
- 商工会議所

参考資料:産業振興分科会 検討内容

【施策体系】



【施策体系】



重点課題1. 安全・安心な食品供給基地の整備

重点目標：「食品・産品の高付加価値化とバリューチェーンの地域統合」

現在、食産業のビジネスプロセスが分断され、個別業者レベルで主に市外に対してビジネス展開している。これに対して、対外的には付加価値の高い差別化された商品の開発を推進し、地域における生産・流通・販売の一連のビジネスプロセスを最適化・効率化する。

施策①：「食品・産品の差別化」

安全・安心性を核として食品・産品の付加価値を高め、内外に販路を拡大する。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
差別化商品開発事業	・大学 ・企業 ・農業試験場 ・青年会議所・商工会議所	・差別化商品を開発し、全国に宇都宮ブランドとして発信する。 ・そのための検討を行う組織体を設置する	・差別化商品開発のための組織体を立上げる ・組織体に対して研究開発費の補助等を行う 例) 納豆餃子(身体によい納豆を宇都宮の名物である餃子に取り入れることで餃子ブランド力を高める)	市
安全・安心な地元食材を利用した産品開発(コンクール事業で実施)	・消費者グループ ・匠(地域の匠)	・安全・安心な産品開発を行う ・産品開発において地域内外の市民、消費者のアイデア・創意工夫を活用する	・市内外から安全・安心な地元食材を利用した産品アイデアを募集し、コンクールを実施する ・優秀作品は実際に作成、販売することとする。	市
新たな売り場の創出	・地元商店街 ・農業者 ・消費者	・開発された差別化商品の販路開拓を行う ・地域における販売拠点の構築と、都心での販売促進を行う	・空き店舗利用による地産地消 ・東京におけるアンテナショップ開発(アンテナショップを活用し、都心の出荷対象地域における市場ニーズ調査を行う) ・ネット販売	市
(差別化商品の)有効な販売ルートの開拓	・農業者 ・消費者	・消費者の安全・安心ニーズの高まりに対応して、生産者の顔が見える販売方法を構築する	・生産者の顔が見える販売方法(生産物トレーサビリティシステムの構築)	市
食シティプロモーションの推進	・地元商店街 ・農業者	・宇都宮の食品に関する「顔」を作り、宇都宮の食に関する外部発信を行う	・「宇都宮」の顔が見える販売方法: 宇都宮の食品に関する「顔」の創出 例) 有名人の活用: たてまつわへい氏	市

重点課題1. 安全・安心な食品供給基地の整備

重点目標：「食品・産品の高付加価値化とバリューチェーンの地域統合」

現在、食産業のビジネスプロセスが分断され、個別業者レベルで主に市外に対してビジネス展開している。これに対して、対外的には付加価値の高い差別化された商品の開発を推進し、地域における生産・流通・販売の一連のビジネスプロセスを最適化・効率化する。

施策②：「フードチェーン形成（生産・流通・消費の再編成）」

宇都宮市には一次産業基盤がフルラインで整備されている。これを活用し、地域内での各業者の強みを連結させたシステムを構築する。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
卸売り市場の活性化事業	・農漁業者 ・消費者	・卸売市場の機能を強化し、市内における生産・流通の連携を促進する ・市民に開かれた卸売市場を構築する	・生鮮食料品の品質保持・衛生の強化を図るため、コールドチェーン化を推進する ・ITを活用したセリシステムの導入 ・より市民に「開かれた市場」を目指して施設見学通路・設備などを設け、多くの市民の方々に見学にきてもらい、市場の機能・役割、さらには生鮮食料品への理解を深めてもらう	農漁業者 市
検品・チェックの強化	・農漁業者 ・卸売業者	・宇都宮の食品は安全・安心であるというブランドイメージを構築する	・市内に流通する食品の規格基準等の検査を行うとともに、健康食品と称した無承認無許可の医薬品成分を含む食品の流通防止を図るための監視指導を行う。 ・安全な食肉を流通するため、牛のBSEスクリーニング検査、腸管出血性大腸菌検査、残留動物用医薬品検査など食肉衛生検査の充実を図る。	市
朝市開催事業	・農業者 ・消費者	・地域流通を推進する	・朝市・産直等の生産流通に係る地域活動を推進するため、朝市・産直等の連携や広く府民への情報発信を推進するとともに、生産者と消費者との交流拡大等、朝市・産直等に係る各種取組を支援する ・地産地消の推進	市
食農教育・食育の推進	・市民	・食に関する安全・安心社会の確立	・生産・加工・流通の過程を理解するための啓発事業 ・食産業、食生活の安全・安心に関する情報発信	市

重点課題2. 新しい観光業の創出

重点目標：「地域の魅力再発見と強みと結びつけたテーマ性を重視した観光コンテンツの発進」

宇都宮市における地域観光資源は、市民ですら十分に把握していない現状である。市民の手で観光資源の魅力を再発見・再発掘し、それらの中の強みの部分を生かしたテーマ性を重視した観光コンテンツを作成し、外部発進する。

施策①：「戦略的住民参加型観光の推進」

地域の観光資源の魅力を市民(住民)自身が再発掘する場を設け、それらを活用した観光コンテンツを作成する。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
地域の魅力再発見マップづくり事業	・市民 ・市外観光客	・市民の知恵を活用して観光資源を発掘する	・地域資源を発掘し、マップ化を行う。その際に市民によるワークショップ、資源探索イベントを実施する。 ・発掘された資源は、宇都宮観光資源百選等の形でとりまとめる。	市 商工関係団体
ロングステイ・ニ地点居住サービス事業	・市民 ・市外観光客(特に団塊世代)	・団塊世代を中心とした地方又は地方都市へのロングステイ、ニ地点居住ニーズに対応し、市内滞在者の増加を図る	・ロングステイ・ニ地点居住サービスの検討 ・モデル事業の実施	市 商工関係団体
グリーンツーリズム・体験農業による都市交流	・商工団体 ・観光協会 ・農業者	・宇都宮市のもつ自然資源を活用した観光事業を推進する ・宇都宮市民が参加できる又は参加が不可欠な観光事業を推進する	・宇都宮市のもつ豊かな自然資源を活用した観光を推進する ・体験農業事業の実施	市 商工関係団体
食・ツーリズム事業(観光と食との合体)	・商工団体 ・観光協会 ・地元商店街	・餃子等の食に関する観光資源を活用した観光事業を推進する	・食を中核的資源とした観光を推進する。	市 商工関係団体

重点課題2. 新しい観光業の創出

重点目標：「地域の魅力再発見と強みと結びついたテーマ性を重視した観光コンテンツの発進」

宇都宮市における地域観光資源は、市民ですら十分に把握していない現状である。市民の手で観光資源の魅力を再発見・再発掘し、それらの中の強みの部分を生かしたテーマ性を重視した観光コンテンツを作成し、外部発進する。

施策②：「新誘客法の開発」

構築された観光コンテンツのよさを最大限に活かすために、観光客が「旅」を楽しむための基盤整備を行う。

また、外部に対して戦略的に観光拠点をPRしていく。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
観光ネットワークの構築	・地元商店街 ・観光業者	・観光客の観光拠点へのアクセスを改善し、より多くの観光拠点を訪ねてもらう	・観光拠点をネットワーク化する。バスや既存の公共交通に加えてLRTを導入し、観光拠点をスムーズに移動できるようにする	市 商工関係 団体
観光ボランティア組織の形成	・地元商店街 ・観光業者	・地元住民や学生の視点できめ細かな、かつホスピタリティ溢れる観光案内を行うことにより、観光客の拠点移動・拠点理解を向上させる	・大学生等を活用し、観光案内を行うボランティア組織を形成する。	市 商工関係 団体
観光オルガナイザーの設置	・観光業者	・観光アクセスを担う主体をとりまとめ、アクセス改善のための連携を促進する	・鉄道、道路、バス会社などを連携するオルガナイザーを設置する	市 商工関係 団体
ロケ誘致事業	・地元観光業者 ・映画産業	・宇都宮の豊かな自然や観光資源をメディアを活用してPRする	・映画等のロケ誘致を促進する。 ・フィルムコミッションの立上げ。	市 商工関係 団体
市長の広告塔化	・地元観光業者	・市長を市の観光の「顔」として活用する	・市長によるトップセールスの強化	市

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

重点目標：「内発型の新産業創出を目指して市民に対して意識面の啓発、環境整備、実業化支援といった入り口から出口までのフルパッケージによる起業支援を行う」

宇都宮市では、従来から起業支援は行われてきたが、ターゲットや支援内容が限定的であるという問題点がみられた。このため、今後は意識啓発から実業化支援までのそれぞれの起業家の進捗段階に応じた支援が求められ、フルパッケージによる起業支援が求められる。

施策①：「産業教育・意識啓発」

サービス経済化を中心とした産業構造の転換を円滑に進めるため、新しい産業を興していく必要がある。内発型の新産業創出を目指すため、既存の産業政策のターゲット外であった若年・女性・高齢層に対して意識喚起を図る。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
中学生から大学生までの起業家教育の推進	・学生・生徒 ・先生 ・親	・若者が、自らリスクをとり、問題解決できる能力を身につけることにより、将来の起業家としての素養を得る	・経営者、エンジェルからの講演による意識喚起 ・中高大のそれぞれのレベルに合った模擬起業体験(中学ではケーススタディ、高校では夏休み・学園祭等を活用したビジネス経験、大学では大学発ベンチャーの推進)、インターンシップ	市 起業家
女性起業家の啓蒙支援	・市内女性	・女性の視点での社会活性化を図る ・女性がもっている潜在能力(感性、発想等)を活かす場の創造	・業種別(福祉・教育・飲食・家事サービス・建築設計)起業コンクール ・女性起業成功者からの講演 ・起業そのものについての知識・ノウハウ支援	市 起業家
シニア層の起業啓発支援	・シニア(40歳以上)	・スキル・ノウハウの社会的活用 ・高齢者の精神的自立・福祉コスト低減	・人材登録(DB)を作る ・若手起業希望者とのマッチングフォーラムの開催(若手企業希望者とのコラボレーションの推進)	市

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

重点目標：「内発型の新産業創出を目指して市民に対して意識面の啓発、環境整備、実業化支援といった入り口から出口までのフルパッケージによる起業支援を行う」

宇都宮市では、従来から起業支援は行われてきたが、ターゲットや支援内容が限定的であるという問題点がみられた。このため、今後は意識啓発から実業化支援までのそれぞれの起業家の進捗段階に応じた支援が求められ、フルパッケージによる起業支援が求められる。

施策②：「起業のための環境整備」

宇都宮市では、起業のための相談窓口等が設置されているが、起業を考えている人材にとっての使い勝手が良くない等の問題が指摘されている。このため、起業アイデアを具現化していくための障害を取り除くために必要な支援を行う。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
起業の芽出し	・起業意欲のある人 ・起業をサポートする人	・経済成長の維持のために、ベンチャースピリットをもった起業家の創出 ・個人の自己実現、喜びの醸成	・起業コンテスト(エンジェルによるその場での支援決定) ・気軽に相談できる相談窓口の設置	市
起業ファンドの形成 (離陸支援)	・金融機関 ・エンジェル ・ベンチャーキャピタル ・大学・商工会	・起業希望者の経済支援 ・出資者の啓蒙、意識付け	・インキュベータの仕組み構築 ・起業に詳しい人を雇用し、行政が出資し、専門家が投資の可否を判断 ・起業のアーリーステージにある起業家に対するコンサルの充実(技術、経理などのチェック) ・起業家コンサルの設置(技術指導、管理指導、経理指導等)	市

重点課題3. 起業家精神が欠如している現状を打破し、ベンチャー企業の育成を図る

重点目標：「内発型の新産業創出を目指して市民に対して意識面の啓発、環境整備、実業化支援といった入り口から出口までのフルパッケージによる起業支援を行う」

宇都宮市では、従来から起業支援は行われてきたが、ターゲットや支援内容が限定的であるという問題点がみられた。このため、今後は意識啓発から実業化支援までのそれぞれの起業家の進捗段階に応じた支援が求められ、フルパッケージによる起業支援が求められる。

施策③：「起業ネットワークの構築とモデル事業の実施」

起業を行うためには事業パートナーが必要であるが、現在の宇都宮市では事業パートナーを獲得するための手段が不足している。このため、起業のためのネットワーク構築と具体的な連携構築を進める。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
異業種交流会を通じたネットワークの形成・構築	業界団体 各種事業者 起業家	・異業種交流によって生じたアイデアの実現化	・異業種交流で生まれたアイデアを支援する仕組み ・異業種交流のアイデア実現のための活動の不安解消	市 商工会・商工会議所
産学連携による新商品の研究開発	・各種研究機関 ・大学	・未来産業の創出 ・宇都宮ブランド(商品、農産物)の創出によりまちを活性化	・宇都宮市に立地する各大学の技術連携組織を統一的に請負う組織を立上げ、定例的に産官学連携会議を開催(起業と大学の技術を結びつける場の創造)。大学のもつ特許情報の開示等を同時に行う ・ビジネス可能性調査をベースとした連携可能性調査の実施と連携可能と判断された場合の口利き	市 大学

重点課題4. 若年労働力不足時代への対応

重点目標：「若年者の意識啓発・職業能力向上と女性の労働市場進出の促進により労働力の維持確保を図る」
若年労働力が総量として減少していく中で、若年者のフリーター・ニート化が進み、益々生産性の高い労働力が不足すると考えられる。このため、若年者の意識向上・能力向上が求められる。また、若年者だけでなく、女性の労働市場への進出も求められる。

施策①：「ニート・フリーター対策、若年就業促進対策」

ニート・フリーターに対して、意識喚起とともに、職業能力開発機会を提供する事により、若者が自身をもって就職活動、就業活動を進められるようにする。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
職業観の醸成	・ニート ・フリーター ・ニート、フリーターの親	・職業をもつことに対する喜びとプライドを醸成する	・ニートが参加しやすい研修・教育機会の設定（交流会から始まる等の工夫、eラーニングによる支援） ・職業体験の実施（社会人の活動を傍について体感するジョブ・シャドウイング、休み期間中を利用したジュニア・インターンシップの推進） ・親への啓蒙・指導（子供と一緒にジョブ・カウンセリングを受ける場の創出）（親の協力が不可欠であるため）	

重点課題4. 若年労働力不足時代への対応

重点目標：「若年者の意識啓発・職業能力向上と女性の労働市場進出の促進により労働力の維持確保を図る」
若年労働力が総量として減少していく中で、若年者のフリーター・ニート化が進み、益々生産性の高い労働力が不足すると考えられる。このため、若年者の意識向上・能力向上が求められる。また、若年者だけでなく、女性の労働市場への進出も求められる。

施策②：「女性の就業環境整備」

女性が働きやすい環境を整備する。特に問題と考えられる育児環境の整備、そして働き方そのものにワークライフバランスを確保するための施策に取り組む。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
育児環境の充実	・子供がいる女性労働者（特にシングルマザー） ・企業経営者 ・父親	・育児と仕事の両立	・保育園の充実（延長保育等） ・育児休業制度活用企業調査と優良企業の表彰制度 ・社内環境整備（託児所設置企業への補助金支給）	事業主 市
宇都宮版ワークシェアリングの推進	・市内就労者	・雇用機会の拡大 ・親が安心して働ける就業体制構築 ・ワークライフバランスの確保	・短時間正社員制度の認定と導入検討企業に対するノウハウ支援 ・割増賃金の引上げ（市内政労使合意）とノー残業企業表彰制度	事業主 市

重点課題5. 中心市街地空洞化への対応

重点目標：「魅力ある拠点づくりとアクセス改善」

中心市街地への人の流れが無くなって久しいが、郊外へ流出した人・消費の流れを再度中心市街地に取り戻し、まちの活性化につなげるために、魅力ある拠点づくりと、拠点へのアクセス改善に取り組む

施策①：「魅力ある拠点づくり」

中心市街地に市民や観光客を呼び込むためには、魅力ある拠点が必要である。特に、五感全体に働きかけることにより、トータルの満足度をあげていくことのできる拠点づくりを進める。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
五感に働きかける仕掛けづくり(魅力ある拠点づくり)	・市民 ・観光客	・文化とゆとりをキーコンセプトとした五感に訴えかけるまちづくり ・五感に訴えかけることにより、トータルの満足度を提供する	・商店等のみではなく五感を満たす拠点の集中化(文化とゆとりを感じられる空間整備、歴史・芸術を感じられる拠点、食通をうならせる拠点の一極集中化。歩きながら五感を満たせるコンパクトな中心市街地形成) ・魅力あるまちづくりを考えるワーキングの設置(五感それぞれにワーキングを設置し、統合ワーキングも設置)	・市 ・商店街 ・商工会議所

重点課題5. 中心市街地空洞化への対応

重点目標：「魅力ある拠点づくりとアクセス改善」

中心市街地への人の流れが無くなって久しいが、郊外へ流出した人・消費の流れを再度中心市街地に取り戻し、まちの活性化につなげるために、魅力ある拠点づくりと、拠点へのアクセス改善に取り組む

施策②：「アクセス改善」

中心市街地に市民や観光客を呼び込むためには、魅力ある拠点とともに、そこへのアクセスの利便性を高める必要がある。このためのアクセス改善を進める。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
駐車場と拠点のルート改善	・市民 ・観光客	・中心市街地へのアクセス 利便性の向上	・中心市街地周辺の駐車場の見直し(場所、料金) ・現行のバス路線・料金の見直し ・回遊性を高める:オシャレな散歩道・遊歩道を作る	